

5人の
絆

④

タイガース完全復活

2008年12月、東京・渋谷の居酒屋で、瞳みのもと再会した時、思わず涙があふれたという。「38年ぶりだったのに、見た瞬間に分かりました」。思いを募らせていたのは、05年から毎年、タイガースの解散日である1月24日前後に、自分のライ

森本太郎



川口正峰撮影

歌にこめた仲間への愛情

ブで瞳への思いをつづった「ロング・グッバイ」を歌ってきたからだ。「いつも、思い出して歌えないぐらい涙が出る。お客さんは僕以上に泣く」

タイガースに対する愛情の深さと、貢献度の大きさは群を抜いている。解散後も沢田研二のライブはほとんど欠かさず見に行き、沢田と岸部一徳とはバンドを組んで、さらなる友情を深

めた。それが彼らの曲「ロング・グッバイ」を生み出すきっかけとなり、タイガース復活の基盤になったとも言える。

ヒット曲「青い鳥」の作詞・作曲、1980年代の再結成の際、CM曲にもなった「色つき

田に言わしめるほどだ。

「僕は器用貧乏で、ずば抜け

たものは何もない」と控えめだ

が、解散後の活躍も幅広い。リ

ーダーバンド「タローとアルフ

アベッツ」を結成し、レコーディ

ングディレクターも経験。芸

能事務所で西城秀樹や岩崎宏美

をプロデュースしている。

すぎやまこういち、橋本淳の

コンビによるタイガース初期の



文化
Culture

エンタ

中きう、館「」る近展だ
大ろ物展宝至数展だ

メルヘン調の楽曲に、ロック好きのメンバーは皆、戸惑ったと言われるが、「青い鳥」はその路線を踏襲した楽曲だった。曲調は、すぎやまの影響を受けたというが、歌詞の原型は前身のファニーズ時代にさかのぼることが最近分かった。「当時のファンに渡した色紙に残されていた。過去に発想があったんですね」。タイガースのイメージの原型は、森本の発想にあったのかもしれない。

◇最終回の次回は29日、岸部一徳の予定です。